

平成27年度

学校自己評価表（報告）

学校運営方針		学校運営計画		評価	
学校運営方針		「誠実で自立して在る若人の育成」のために、①自他の心と生命を尊重する精神の涵養、②継続的に努力する気力・体力、課題解決能力の向上、③確かな学力の定着と進路希望の実現、を図っていく。			
昨年度の成果と課題		年度の重点目標		具体的目標	
教科33単位時間の教育課程は、順調に実施することができた。次年度は「医療専攻」の開始を踏まえ、キャリア教育を更に推進し、教育課程の円滑な実施と合わせ、生徒の進路希望達成に向けた取り組みを進めたい。 交通ルールの遵守や携帯電話マナーの向上をはじめ、様々な場面で規範意識の醸成を図る取り組みを実施した。今後も継続した取り組みを実施したい。 次年度は人権教育の更なる推進を図るとともに、生徒一人一人が充実した高校生活を送ることができるよう、保護者や地域と連携し、学校運営に取り組みたい。		円滑な校務運営と教育課程の実施に努め、生徒の学習意欲向上と進路希望達成を支援する。		円滑な校務運営と教育課程の実施によって授業時数の確保と学習意欲向上を促す指導に努める。	
		基本的な生活習慣の確立を促す中で規範意識の涵養に努める。また交通安全指導の徹底を図る。		継続的で組織的な進路指導体制の確立を図り、生徒の多様な進路希望の達成を支援する。	
		部活動と学校行事の活性化を促して学校生活への満足度を高め、心身ともに健康な学校生活を送れるよう支援する。		基本的な生活習慣確立を促す指導を徹底する。 生徒の自主的・自律的な生活態度の確立を促し、規範意識の涵養に努める。	
		PTA活動の活性化を図る。また、生徒の利用しやすい図書環境作りに努める。		部活動と学校行事の活性化を促し、自主的・意欲的に行動しようとする態度の育成に努める。 保健指導と教育相談体制の充実を図り、生徒が心身ともに健康な学校生活を送れるよう支援する。 懇談会の実施やPTAだより等の発行によって保護者との連携を深め、PTA活動の活性化を図る。 図書館の資料整備・充実を進めて、利用しやすい環境作りに努める。	
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価	
円滑な教育課程の実施	円滑な校務運営と教育課程の実施によって授業時数の確保と生徒の学習意欲向上を促す指導に努める。	授業ローテーションを実施し、必要な授業時数の確保に努める。		A	A
		授業変更等により、生徒の学習時間が確保できる体制づくりを行う。		A	
		他分掌・各学年との連携を深め、円滑な校務運営に努める。		A	
		チャイムと同時に授業態勢に入ることや、早めの教室移動を生徒に指導する。		B	
生徒の進路希望達成	継続的で組織的なキャリア支援体制の確立を図る。 生徒の多様な進路希望実現を支援する。	生徒に家庭学習の重要性を自覚させ、学習習慣の確立を図る		B	B
		ホームページ等を活用して、保護者や地域への情報発信に努める。		B	
		キャリア指導部と学年が連携し将来を見通したキャリア指導計画を作成する。		A	
		「進路のしおり」を作成し、各学年段階で必要な指導を継続的に行う。		A	
指導の徹底と規範意識の涵養	交通安全指導の徹底 基本的な生活習慣の確立を促し、自立的な生活態度と規範意識の涵養を図る	医療専攻講演会等の実施をおとして、早期からキャリア意識を高める。		A	A
		登下校時の街頭交通指導・HRや全校集会を通じて交通指導を随時実施する。		A	
		交通安全講話、バイク実技講習会を実施し、交通事故防止を図る。		A	
		薬物乱用防止講話やインターネットを含む携帯電話に関する講話を実施する。		B	
部活動と学校行事の活性化	部活動と行事の活性化を促し、自主的・意欲的に行動する態度の育成に努める。	頭髪・服装検査を定期的に実施し、全職員で年間を通して指導の徹底を図る。		B	B
		朝の声かけを継続的に実施し、遅刻の防止や挨拶の励行を指導する。		B	
		規律委員会による遅刻防止や服装注意など生徒が互いに注意できる環境を作る		B	
		定期的に学校生活調査を実施し、いじめ等の現状把握と防止教育に取り組む。		A	
心身ともに健康な学校生活の実現	保健指導と教育相談体制の充実を図る。 安全かつ快適な学校生活環境をつくる。	行事への積極的参加を促し、自主的・意欲的に行動する態度の育成を図る。		A	A
		クラブ集会等を通じて、全校生徒に部活動への積極的参加を促す。		B	
		部活動を通じて、挨拶等の生活態度向上や集団行動の規範を身に付けさせる。		B	
		健康診断を着実に実施し、事後措置についても丁寧に指導する。		A	
保護者との連携の推進	PTA活動に対する保護者の参加を促し保護者と学校との連携を深め、PTA活動の一層の活性化を図る	生徒の心身の健康について、職員間で情報を共有し協働して関わる。		A	A
		防災計画を確実に遂行し、地震・火災等への安全体制の徹底を図る。		B	
		学校内外の美化に努めるとともに、整備委員会の活発な活動を促す。		A	
		PTA理事との連携を深め、PTA諸事業への出席者の増加を図る。		B	
資料の整備と利用の促進	利用しやすい図書館の環境作りに向けて、資料整備や充実を図る。	PTA広報誌「かけはし」を年2回発行し、学校やPTA諸活動を紹介する。		A	B
		大学視察訪問を実施し、保護者の進路意識の啓発・向上を図る。		A	
		理事会や学年PTA等の実施をおとし、保護者との連携に努める。		B	
		図書館資料の充実を図り、生徒の学習支援と授業実施の支援に努める。		A	
各学年での指導の充実	1 学年 生徒の自己実現のため、基礎学力の定着と主体的で規律ある生活態度の育成を図る。	図書委員会の活動がより活発になるよう、指導に努める		A	A
		蔵書管理システムのコンピュータ化を進め効率化を図る。		A	
		生徒が新しい環境に円滑に適応できるよう、家庭と連携し支援する。		A	
	2 学年 進路希望の実現に向け、更なる学力の定着と、前向きで意欲的な生活態度の育成を図る。	予習・復習といった学習習慣の定着を目指し、基礎学力の向上を図る。		B	
		自律した高校生になれるよう、学業と課外活動の両立に留意させる。		A	
		面談や各種講演会によって、生徒が進路等について主体的に考えるよう促す。		A	
	3 学年 自己実現のための人間力を養成し、学力伸長と進路希望達成を支援する	家庭と連絡の取りながら、生徒が充実した生活を送ることができるよう図る。		A	
		学習習慣の確立を図り、卒業後のキャリア形成のための学力伸長を図る。		B	
		中堅学年としての自覚を促し、学業と課外活動とバランスの取れた活動を図る。		B	
成果	1年生では宿泊オリエンテーション等の例年の取組に加えて医療専攻講演会を新たに実施し、2・3年生では多様な進路希望の実現に向けて講習を充実させた。これらの成果として、生徒のキャリア意識や進学意識を早期から高めるとともに最後まで粘り強く指導することができ、生徒の意欲の喚起と継続につながった。また、ルール遵守等の指導や人権教育を通して、社会の一員としての認識を深めることができた。	ガイダンスや個別面談により、生徒が進路等について主体的に考えるよう促す。		A	B
		家庭と継続的に連絡をとり、生徒が主体的に学校生活を送れるように促す。		B	
		模試の有効活用と進路希望別補習の充実により、確実な学力伸長を図る。		B	
		具体的な進路目標決定のために継続的な面接指導を行う。		A	
		進路ガイダンスと個別指導により、生徒の進路目標達成のための支援を行う。		A	総合評価

